

第6学年学級活動（1）指導案

日 時 令和5年10月27日（金）6校時

児 童 6年A組 計29名

指導者 教諭 河野 美恵

場 所 6年A組教室

1 議題 「6A言葉づかいレベルアップ作戦」

学級活動（1）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、全体的に男女間も仲が良く、また互いのよさを認め合って生活している。4月には、学年スローガン「SHIP」のもと、「笑顔を忘れず、思いやりをもって周りに接する子」「自分の考えをもち自分の言葉で伝える子」「リーダーシップを発揮し、自分から実行にうつす子」という学級目標を設定した。1年生を迎える会や運動会、修学旅行をはじめ、様々な行事を協力して行っており、共に、委員会活動やクラブ活動では、下級生のサポートやお世話を進んで行い、リーダーとして責任をもって活動している。

学級会では、毎月の生活目標を中心に、様々な議題について話し合ってきた。その中で、司会や記録の経験を重ねながら、話し合いの進め方について学んできた。学級会を重ねることで、自分の考えを発表する意欲が高まり、みんなで話し合って決めることや折り合いをつけることの価値にも気付き始めている。しかし、実際に出された意見を比べ合い、みんなのためによりよい意見にまとめようとする意識はまだ低い。

（2）議題選定の理由

本議題は、学級活動（1）「学級や学校における生活づくりへの参画」のA「学級や学校における生活上の諸問題の解決」に関するものである。本校では、「思いやり 言葉で伝える 南の子」を児童会スローガンとして今年度のスタートをきった。1学期には、廊下歩行や給食、あいさつなどの学級の課題について考え、取り組みを行った。2学期になり、卒業に向けて残り半年となった現在の学級の成果と課題について振り返った結果、「言葉づかい」についての問題点が出された。

そこで、「言葉づかいレベルアップ作戦」を話し合い、よりよい言葉づかいができるための取り組み方法と工夫についての話し合いを充実させたい。そのことによって、学級目標「笑顔を忘れず思いやりをもって周りに接する子」「リーダーシップを発揮し、自分から実行にうつす子」を達成したいという思いが高まるように考え、この議題を設定した。

3 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

よりよい学級をつくるために、言葉づかいについての取り組み内容や工夫を考えることができるようにする。

(2) 話し合い活動の工夫

★手立て「ループリックの活用」

本時話し合いのめあてを「まとめる力」とした。学級全体の合意に向けた話し合いの力はまだ十分とは言えない。「先生のお話」では、合意を形成するためには多様な考えを尊重したり、これまでの話し合いの経緯を振り返ったりしながらまとめていくことの大切さについて確認する。

※(5) 板書計画参照

★手立て「どのように工夫するか」

本時は、「前向きに取り組める」「よりよい言葉づかいを意識できる」「下級生の手本になる」というキーワードで考えさせる。一人一人が言葉づかいをレベルアップさせるためには、どんな取り組みを行ったらよいか考えさせる。その上で、「方法の工夫」と「言葉づかいの工夫」について考えさせたい。そのことによって、クラス全員が毎日の生活の中で、よりよい言葉づかいに意識して取り組めるようにさせたい。

(3) 指導計画

話し合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉 ★手立て
1 はじめの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題、提案理由、決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分の考えをもって参加できるよう、議題に対する考えや理由を事前に書かせる。 提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 	◎一人一人が自分の考えをもって参加できるよう、議題に対する考えや理由を事前に書かせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>議題</p> <p>「6 A言葉づかいレベルアップ作戦」</p> <p>提案理由</p> <p>これまで6年A組では、廊下歩行や給食、あいさつに対する取り組みを考え、学校のリーダーとしてふさわしい6年生になるように実践してきました。卒業まで半年となった今、学級の振り返りを行った結果、よい点がたくさん出てきた一方、友達に対してちくちく言葉を言ったり、呼び捨てにしたりするなど、言葉づかいに課題があることが分かりました。そこで、学校のリーダーとしてふさわしい6年生になるために、「前向きに取り組める」「よりよい言葉づかいを意識できる」「下級生の手本となれる」ための取り組み内容や工夫を考えることによって、「笑顔で思いやりをもって周りに接する子」「リーダーシップを発揮し、実行にうつす子」の学級目標に近づけると思い、この議題を提案します。</p> <p>キーワード（話し合いのよりどころ）</p> <p>「前向きに取り組める」 「よりよい言葉づかいを意識できる」 「下級生の手本になれる」</p> </div>		

<p>決まっていること</p>	<p>3つのうち1つに決める。 10月30日(月)～11月10日(金)までの間に取り組みを行う。</p> <p>話し合いのめあて</p> <p>みんなにとってよい取り組みになるようなまとめの意見を出そう。</p>	
<p>4 先生のお話</p>	<p>話し合いの内容について</p> <p>言葉づかいについての現状を話す。学級の言葉づかいをよりよくするための話し合いだということ・なぜ言葉づかいが大切なのかということを確認する。取り組みを通してどんな姿になってほしいか話す。</p> <p>話し合いのめあて</p> <p>「まとめる力」ルーブリックによる評価について話す。合意形成の大切さについて話す。 ※学級会ノート参照</p>	
<p>5 話し合い (1) 話し合うこと① 「取り組みの内容」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前のアンケートをもとに、学級の言葉づかいをレベルアップさせようとする意識を高める。 ・めあてについて説明する。 ・必要に応じて補足説明をする ・賛成意見、心配意見、改善意見を短い言葉で、書記に板書させ、それをもとにまとめ合いができるようにする。 <p>・話し合いの途中でも、積極的に助言していく。</p> <p>・司会に時間を意識させ、比べ合いがある程度終わったら、まとめ合いに入るようにさせる。</p> <p>・必要に応じて、自分の意見に固執せず納得したうえで考えを変えるなど折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さについて助言する。</p>	<p>★手立て</p> <p>◎友達の意見のよさを考えながら聞くとともに、提案理由や友だちの考えも踏まえて発言している。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉</p> <p>◎納得して折り合いをつけたり妥協点を見出したりしながらまとめようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉</p>
<p>(2) 話し合うこと② 「取り組みの工夫」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「取り組み方法の工夫」と「言葉づかいの工夫」について分けて掲示する。 ・イメージが共有されていないような場合は、切り返したり質問をしたりしてイメージの具体化を図る。 ・「言葉づかいの工夫」についてのイメージが出ない場合は、具体的な工夫例等を助言していく。 	<p>★手立て</p> <p>◎決まった実践をよりよくするための工夫や約束を考えている。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈観察・発言〉</p>

6 決まったことの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・記録係に決まったことを発表してもらう。 	
7 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・本時ルーブリックにより、自分の話し合いについて振り返る。 ・よかった点や課題点について自己評価や相互評価できるよう助言する。 	
8 先生のお話	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックにより話し合いの仕方を振り返り、よかった点や課題点について話す。 ・決め方について価値づける。 ・計画委員への労いを伝える。 ・今後の見通しや実践に向けての意欲付けをする。 	
9 終わりの言葉		

議題

六A 言葉つかいレベルアップ作戦

提案理由

これまで六年A組では、廊下歩行や給食、あいさつに対する取り組みを考え、学校のリーダーとしてふさわしい六年生になるように実践してきました。卒業まで半年となった今、学級の振り返りを行った結果、よい点がたくさん出てきた一方、友達に対してちくちく言葉を言ったり、呼び捨てにしたりするなど、言葉づかいに課題があることが分かりました。そこで、学校のリーダーとしてふさわしい六年生になるために、「前向きに取り組める」「よりよい言葉づかいを意識できる」「下級生の手本となる」ための取り組み内容や工夫を考えることによって、「笑顔で思いやりをもって周りに接する子」「リーダーシップを発揮し、実行にうつす子」の学級目標に近づけると思い、この議題を提案します。

キーワード

「前向きに取り組める」「よりよい言葉づかいを意識できる」

「下級生の手本になれる」

決まっていること

三つのうち一つに決める。

十月三十日(月)～十一月十日(金)に取り組む。

話し合いのめあて

みんなが納得する方法を考えながら、まとめの意見を出そう。

合意形成の方法を考えながら、まとめている。

〔吸収合併案〕「両方案」「休み時間に行う案」「条件付き決定」等

「B案の考え方は、A案と同じで、～な良さがあります。A案の中に良さも入っているためA案にしたから、～の良さも入っていることなので、A案に決めてよいと思います」

「A案については、～のような心配も出されていたので、「話し合うこと②」でそのことについてみんなで考えることにして、A案に決めて進めてみたらよいと思います。」

「話し合うこと②で工夫を考えることもできるので、A案に決めて、も～と工夫すればいいと思います。だからA案に決定していいんじゃないですか?」

全員の納得(提案理由・決まっていること)を確認して決めるように促している。

「A案は、提案理由(キーワード)にふさわしいことが確認できたので、A案に決めていいのではないですか?」

「決まっていること」も考えると、A案が一番いいと思うのでA案で進めたらよいと思います。」

第八回 六年A組 学級会

キーワード

「前向きに取り組める」「よりよい言葉づかいを意識できる」
「下級生の手本になれる」

話し合うこと①

取り組み内容

	案	賛成	心配	改善

話し合うこと②

工夫

取り組み方法の工夫

言葉づかいの工夫

話し合いで決まったこと

先生から

